

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4848550号
(P4848550)

(45) 発行日 平成23年12月28日 (2011.12.28)

(24) 登録日 平成23年10月28日 (2011.10.28)

(51) Int. Cl.	F 1
B 6 2 J 99/00 (2009.01)	B 6 2 J 39/00 A
B 6 2 J 23/00 (2006.01)	B 6 2 J 23/00 A
B 6 2 J 25/00 (2006.01)	B 6 2 J 23/00 C
	B 6 2 J 25/00 B

請求項の数 3 (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2007-299653 (P2007-299653)	(73) 特許権者	000005326
(22) 出願日	平成19年11月19日 (2007.11.19)		本田技研工業株式会社
(65) 公開番号	特開2009-126184 (P2009-126184A)		東京都港区南青山二丁目1番1号
(43) 公開日	平成21年6月11日 (2009.6.11)	(74) 代理人	100127801
審査請求日	平成21年9月16日 (2009.9.16)		弁理士 本山 慎也
		(74) 代理人	100108589
			弁理士 市川 利光
		(72) 発明者	渡邊 徳丸
			埼玉県和光市中央1丁目4番1号 株式会
			社本田技術研究所内
		審査官	増沢 誠一

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 スクータ型車両の外装構造

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

運転者着座部 (16a) と同乗者着座部 (16b) を有するシート (16) と、
 車体フレーム (20) の前方側を覆うフロントカバー (41) と、
 前記シートの下方位位置まで延設されるステップフロア (45) と、
運転者の足の前方を覆うと共にヘッドパイプ (21) の後方側を覆うレッグシールド (43) と、

前記シートの前方に配置され、運転者の両足の間を仕切るように設けられるセンターカバー (44) と、

前記シートの下方に配置されるサイドカバー (47) と、

前記フロントカバー、前記サイドカバー、前記ステップフロア及び前記センターカバーと色及び材質の少なくとも一方を異ならせる外観部品 (60) と、を備えるスクータ型車両の外装構造であって、

前記外観部品は、車両側面視において、前記シートの前記運転者着座部の下方から前記ステップフロアの前端部 (45a) を越えて前記レッグシールドを經由し、前記フロントカバーの下方まで延出するように形成されると共に、少なくとも前記シートの下方から前記レッグシールド間を略直線状に形成し、且つ、車両前方上方へ向けて傾斜する傾斜面 (60a) を備え、

前記外観部品の後端部が、前記運転者着座部の下方で前記サイドカバーの前端部に接合され、

10

20

前記外観部品の前端部が、前記フロントカバーの前端部まで回り込んでいることを特徴とするスクータ型車両の外装構造。

【請求項 2】

前記外観部品（60）は、前記センターカバー（44）を上下に分割して車両前後方向に横断するように配置されることを特徴とする請求項 1 に記載のスクータ型車両の外装構造。

【請求項 3】

前記傾斜面（60a）は、少なくとも前記センターカバー（44）に対応する部分に設けられることを特徴とする請求項 1 に記載のスクータ型車両の外装構造。

【発明の詳細な説明】

10

【技術分野】

【0001】

本発明は、車両の外表面を複数のカバーで構成するスクータ型車両の外装構造に関する。

【背景技術】

【0002】

従来のスクータ型車両の外装構造としては、シートの下方位置まで延設されるステップフロアと、シートの下方に配置されるサイドカバーとの間に、ステップフロア及びサイドカバーと色・材質等を異ならせた外観部品を設け、この外観部品を車両のアクセントとして機能させるものが知られている（例えば、特許文献 1 参照）。

20

【0003】

【特許文献 1】特許第 3 9 3 8 6 5 2 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

ところで、上記特許文献 1 に記載のスクータ型車両の外装構造では、車両に運転者が乗車すると、外観部品の前部が運転者の足により隠れ、さらに、同乗者が乗車すると、外観部品の後部が同乗者の足により隠れてしまい、外観部品が目立たなくなってしまう。従って、外観部品の面積に対して隠れる面積の割合が多く、このような外観部品では車両のアクセントとしての機能を十分に果たすことができなかった。

30

【0005】

本発明は、上記事情に鑑みてなされたもので、その目的は、車両のアクセント機能を向上することができ、また、運転者及び同乗者の足により一部が隠れたとしても、車両のアクセント機能を十分に確保することができるスクータ型車両の外装構造を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記目的を達成するために、請求項 1 に記載の発明は、運転者着座部と同乗者着座部を有するシートと、車体フレームの前方側を覆うフロントカバーと、シートの下方位置まで延設されるステップフロアと、運転者の足の前方を覆うと共にヘッドパイプの後方側を覆うレッグシールドと、シート的前方に配置され、運転者の両足の間を仕切るように設けられるセンターカバーと、シートの下方に配置されるサイドカバーと、フロントカバー、サイドカバー、ステップフロア及びセンターカバーと色及び材質の少なくとも一方を異ならせる外観部品と、を備えるスクータ型車両の外装構造であって、外観部品は、車両側面視において、シートの運転者着座部の下方からステップフロアの前端部を越えてレッグシールドを經由し、フロントカバーの下方まで延出するように形成されると共に、少なくともシートの下方からレッグシールド間を略直線状に形成し、且つ、車両前方上方へ向けて傾斜する傾斜面を備え、外観部品の後端部が、運転者着座部の下方でサイドカバーの前端部に接合され、外観部品の前端部が、フロントカバーの前端部まで回り込んでいることを特徴とする。

40

50

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の発明の構成に加えて、外観部品は、センターカバーを上下に分割して車両前後方向に横断するように配置されることを特徴とする。

請求項 3 に記載の発明は、請求項 1 に記載の発明の構成に加えて、傾斜面は、少なくともセンターカバーに対応する部分に設けられることを特徴とする。

【発明の効果】

【0009】

請求項 1 に記載のスクータ型車両の外装構造によれば、外観部品は、車両側面視において、シートの運転者着座部の下方で外観部品の後端部をサイドカバーの前端部に接合し、運転者着座部の下方からステップフロアの前端部を越えてフロントカバーの下方まで設けられるため、車両側面視における車両の前後方向長さに対して、外観部品を広い範囲で設けることができるので、車両のアクセント機能を向上することができる。さらに、運転者着座部の下方から車両前部へ外観部品を延ばしたので、同乗者を乗せた場合に同乗者の足によって外観部品が隠れるのを防ぐことができる。従って、車両に乗員が乗車している場合でも、車両のアクセント機能を十分に確保することができる。

10

【0010】

また、外観部品は、車両側面視において、略直線状に形成されるため、運転者の足により外観部品の一部が隠れたとしても、隠れた部分の前後から外観部品の全体像を容易に把握することができるので、車両のアクセント機能の低下を防止することができる。

【0011】

また、外観部品は、フロントカバーの前端部まで回り込むため、車両正面視から側面視にかけて連続した面を持たせることができるので、車両のアクセント機能をより向上することができる。また、車両の前部から後部にかけて一体感を持たせることができるので、車両の外観性を向上することができる。

20

【発明を実施するための最良の形態】

【0012】

以下、本発明に係るスクータ型車両の外装構造の各実施形態について、添付図面に基づいて詳細に説明する。なお、図面は符号の向きに見るものとする。

【0013】

(第 1 実施形態)

まず、図 1 ～ 図 7 を参照して、本発明に係るスクータ型車両の外装構造の第 1 実施形態について説明する。

30

図 1 は本発明に係るスクータ型車両の外装構造の第 1 実施形態を採用したスクータ型車両の左側面図、図 2 は燃料タンク及びラジエータを取り付けた状態での車体フレームの斜視図、図 3 はシート及び車体カバーを取り外した状態でのスクータ型車両の前後方向中間部の左側面図、図 4 は図 1 に示すスクータ型車両の車体カバーを説明するための左側面図、図 5 は図 4 に示すスクータ型車両の平面図、図 6 は図 4 に示すスクータ型車両の正面図、図 7 は図 4 の A 部拡大図である。なお、以下の説明において、前後、左右、上下は、運転者から見た方向に従い、前方を F r、後方を R r、左側を L、右側を R、上方を U、下方を D、として示す。

【0014】

40

図 1 に示すように、本実施形態のスクータ型車両 10 の車体フレーム 20 は、前輪 W F を軸支するフロントフォーク 11、及びフロントフォーク 11 に連結される操向ハンドル 12 を操向可能に支承するヘッドパイプ 21 を前端に備えるものであり、後輪 W R を後端で軸支するユニットスイングエンジン U E が、車体フレーム 20 の前後方向中間部で上下揺動可能に支承され、ユニットスイングエンジン U E よりも前方で車体フレーム 20 には、側面視で上下に長く形成される燃料タンク 13 と、燃料タンク 13 よりも後方に配置されるラジエータ 14 と、が搭載される。

【0015】

また、車体フレーム 20 には、ユニットスイングエンジン U E を上方から覆うようにして収納ボックス 15 が取り付けられており、この収納ボックス 15 上に、運転者着座部 1

50

6 a 及び同乗者着座部 1 6 b を有するタンデム型の乗車用シート 1 6 が配置される。

【 0 0 1 6 】

さらに、車体フレーム 2 0 には、車体フレーム 2 0、ユニットスイングエンジン U E の前部、燃料タンク 1 3、ラジエータ 1 4、及び収納ボックス 1 5 を覆う合成樹脂製の車体カバー 4 0 が取り付けられる。

【 0 0 1 7 】

車体フレーム 2 0 は、図 2 及び図 3 に示すように、ヘッドパイプ 2 1 と、ヘッドパイプ 2 1 に連設されて後ろ下がりに延びる左右一対の上ダウンスラット 2 2 と、上ダウンスラット 2 2 よりも下方でヘッドパイプ 2 1 に連設されて後ろ下がりに延びると共に、その後端部が上ダウンスラット 2 2 の後端部に結合される左右一対の下ダウンスラット 2 3 と、上ダウンスラット 2 2 の中間部から後ろ上がりに延びる左右一対のシートレール 2 4 と、上ダウンスラット 2 2 の後部とシートレール 2 4 の後部との間を連結する左右一対のリアスラット 2 5 と、上ダウンスラット 2 2、下ダウンスラット 2 3、及びリアスラット 2 5 の外方側に配置されて前後方向に延びる左右一対のサポートフレーム 2 6 と、を備える。

【 0 0 1 8 】

サポートフレーム 2 6 は、車体カバー 4 0 がその左右に備えるステップフロア 4 5 を下方から支持するものであり、サポートフレーム 2 6 の前端は下ダウンスラット 2 3 の下部に結合され、後端はリアスラット 2 5 の中間部に結合される。

【 0 0 1 9 】

車体カバー 4 0 は、図 1 及び図 4 に示すように、ヘッドパイプ 2 1 の前方側及び前輪 W F の上方側を覆うフロントカバー 4 1 と、フロントカバー 4 1 に接合されて運転者の足の前方を覆うと共にヘッドパイプ 2 1 の後方側を覆うレッグシールド 4 3 と、乗車用シート 1 6 の前方から下方にかけて配置されて運転者の両足の間を仕切るように設けられる左右一対のフロアセンターカバー 4 4 と、フロアセンターカバー 4 4 の下端部に沿って形成され、乗車用シート 1 6 の下方位置まで延設されるステップフロア 4 5 と、ステップフロア 4 5 の外縁から下方に延びる左右一対のフロアサイドカバー 4 6 と、乗車用シート 1 6 の下方に配置されて後方に延びる左右一対のボディサイドカバー 4 7 と、ボディサイドカバー 4 7 の後方下部に連設される左右一対のリアリアカバー 4 8 と、左右一対のテールライトユニット 1 8 の上方側を覆うリアアッパーカバー 4 9 と、リアアッパーカバー 4 9 に連設されて左右一対のテールライトユニット 1 8 間に配置されるリアセンターカバー 5 0 と、を備える。

【 0 0 2 0 】

そして、本実施形態では、図 4 ~ 図 6 に示すように、車体カバー 4 0 は、車両側面視において、乗車用シート 1 6 の運転者着座部 1 6 a の下方からステップフロア 4 5 の前端部 4 5 a を越えてフロントカバー 4 1 の下方まで設けられる外観部品 6 0 を更に備える。

【 0 0 2 1 】

外観部品 6 0 は、車両側面視において、略直線状に形成され、フロアセンターカバー 4 4 を上下に分割して車両前後方向に横断するように配置される。また、外観部品 6 0 の前端部はフロントカバー 4 1 の前端部まで回り込むように形成される。また、外観部品 6 0 の後端部は、車両側面視において、運転者着座部 1 6 a の下方でボディサイドカバー 4 7 の前端部に接合される。また、外観部品 6 0 は、車両側面視において、運転者着座部 1 6 a の下方からフロントカバー 4 1 の下方の間に、車両前方上方へ向けて傾斜する傾斜面 6 0 a を備えており、この傾斜面 6 0 a は、少なくともフロアセンターカバー 4 4 に対応する部分に設けられる。

【 0 0 2 2 】

また、外観部品 6 0 は、図 4 ~ 図 6 に示すように、断面 6 1、6 2、6 3 により複数のパーツに適宜分割されており、これらのパーツをスクータ型車両 1 0 に組み付けることにより一体的に見えるように構成されている。

【 0 0 2 3 】

また、外観部品 6 0 は、フロントカバー 4 1、ステップフロア 4 5、フロアセンターカ

10

20

30

40

50

バー４４、及びボディサイドカバー４７と色及び材質の少なくとも一方を異ならせるようにして構成される。

【００２４】

また、レッグシールド４３、フロアセンターカバー４４、及び外観部品６０の一部により、ステップフロア４５間において上方に隆起するフロアトンネル部５１が形成されており、このフロアトンネル部５１は、ヘッドパイプ２１の後方から乗車用シート１６の前方下部にかけて配置される。

【００２５】

フロントカバー４１の前部にはヘッドライト７０がそれぞれ配置され、ヘッドライト７０の下方且つ外観部品６０の下部にはウインカー７１がそれぞれ配置される。

10

【００２６】

また、フロントカバー４１及びレッグシールド４３の上部には、メータ類を配置するためのパネル５３が接合されており、このパネル５３の前部には上方に隆起するようにしてメータバイザ５４が一体に設けられる。さらに、メータバイザ５４の前方にはウインドシールド５５が設けられる。

【００２７】

また、フロントフォーク１１の中間部には、前輪ＷＦを上方から覆うフロントフェンダ７２が取り付けられる。また、操向ハンドル１２には、左右一対のバックミラー７３と、オーディオ操作スイッチケース７４と、各灯器等を操作するためのスイッチケース７５等が取り付けられる。

20

【００２８】

また、収納ボックス１５の後部には、左右一対のテールライトユニット１８、リヤアッパーカバー４９、及びリヤセンターカバー５０と共に、後輪ＷＲを後方から覆うリヤフェンダ７６が取り付けられており、このリヤフェンダ７６には、ライセンスライト７７、リフレクタ７８、及びライセンスプレート７９が取り付けられる。

【００２９】

また、図７に示すように、フロアサイドカバー４６の後端部には、車両後方に行くに従って車幅が円弧状に狭くなる円弧部４６ａが形成されており、この円弧部４６ａに沿って、ステップフロア４５の後端部も円弧状に形成される。

【００３０】

30

また、図７に示すように、ボディサイドカバー４７の前方下部には、路面と略並行に形成される凹部４７ａが形成されており、この凹部４７ａには、リヤフレーム２５に折畳み可能に取り付けられるパッセンジャーステップ２７が収容される。これにより、パッセンジャーステップ２７は、ボディサイドカバー４７に出し入れ可能に設けられる。

【００３１】

以上説明したように、本実施形態のスクータ型車両の外装構造によれば、外観部品６０は、車両側面視において、乗車用シート１６の運転者着座部１６ａの下方で外観部品６０の後端部をボディサイドカバー４７の前端部に接合し、運転者着座部１６ａの下方からステップフロア４５の前端部４５ａを越えてフロントカバー４１の下方まで設けられるため、車両側面視における車両１０の前後方向長さに対して、外観部品６０を広い範囲で設けることができるので、車両１０のアクセント機能を向上することができる。さらに、運転者着座部１６ａの下方から車両前部へ外観部品６０を延ばしたので、同乗者を乗せた場合に同乗者の足によって外観部品６０が隠れるのを防ぐことができる。従って、車両１０に乗員が乗車している場合でも、車両１０のアクセント機能を十分に確保することができる。

40

【００３２】

また、本実施形態のスクータ型車両の外装構造によれば、外観部品６０は、車両側面視において、略直線状に形成されるため、運転者の足により外観部品６０の一部が隠れたとしても、隠れた部分の前後から外観部品６０の全体像を容易に把握することができるので、車両１０のアクセント機能の低下を防止することができる。

50

【 0 0 3 3 】

さらに、本実施形態のスクータ型車両の外装構造によれば、外観部品 6 0 は、フロントカバー 4 1 の前端部まで回り込むため、車両正面視から側面視にかけて連続した面を持たせることができるので、車両 1 0 のアクセント機能をより向上することができる。また、車両 1 0 の前部から後部にかけて一体感を持たせることができるので、車両 1 0 の外観性を向上することができる。

【 0 0 3 4 】

(第 2 実施形態)

次に、図 8 を参照して、本発明に係るスクータ型車両の外装構造の第 2 実施形態について説明する。なお、第 1 実施形態と同一又は同等部分については、図面に同一符号を付してその説明を省略或いは簡略化する。

10

図 8 は本発明に係るスクータ型車両の外装構造の第 2 実施形態を採用したスクータ型車両の右側面図である。

【 0 0 3 5 】

図 8 に示すように、本実施形態のスクータ型車両 8 0 は、その外表面が車体カバー 9 0 により覆われており、この車体カバー 9 0 は、ヘッドパイプ 2 1 の前方側を覆うフロントカバー 9 1 と、フロントカバー 9 1 の下方両側に接合される左右一対のフロントサイドカバー 9 2 と、フロントカバー 9 1 及びフロントサイドカバー 9 2 に接合されて運転者の足の前方を覆うと共にヘッドパイプ 2 1 の後方側を覆うレッグシールド 9 3 と、レッグシールド 9 3 の下端部から乗車用シート 1 6 の下方位置にかけて形成されるステップフロア 9 5 と、ステップフロア 9 5 の外縁から下方に延びる左右一対のフロアサイドカバー 9 6 と、乗車用シート 1 6 の下方に配置されて後方に延びる左右一対のボディサイドカバー 9 7 と、を備える。

20

【 0 0 3 6 】

そして、本実施形態では、車体カバー 9 0 は、車両側面視において、フロントカバー 9 1 の下方から乗車用シート 1 6 の運転者着座部 1 6 a の下方まで設けられる外観部品 9 8 を更に備える。この外観部品 9 8 は、レッグシールド 9 3 の中間部とボディサイドカバー 9 7 の前方下部との間に掛け渡されるように略直線状に形成される。

【 0 0 3 7 】

また、本実施形態では、外観部品 9 8 の中間部の内部に燃料タンク 1 3 が配置されている。当該内部には、燃料タンクに限らず種々の機能部品を配置することができる。また、小物入れとして機能させることもできる。さらに、本実施形態では、レッグシールド 9 3 、ステップフロア 9 5 、及び外観部品 9 8 により車幅方向に沿って空洞 X が形成される。

30

【 0 0 3 8 】

以上説明したように、本実施形態のスクータ型車両の外装構造によれば、外観部品 9 8 は、車両側面視において、フロントカバー 9 1 の下方から乗車用シート 1 6 の運転者着座部 1 6 a の下方まで設けられるため、車両側面視における車両 1 0 の前後方向長さに対して、外観部品 9 8 を広い範囲で設けることができるので、車両 1 0 のアクセント機能を向上することができる。さらに、運転者着座部 1 6 a の下方から車両前部へ外観部品 9 8 を延ばしたので、同乗者を乗せた場合に同乗者の足によって外観部品 9 8 が隠れるのを防ぐことができる。従って、車両 1 0 に乗員が乗車している場合でも、車両 1 0 のアクセント機能を十分に確保することができる。

40

その他の作用効果については、上記第 1 実施形態と同様である。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 3 9 】

【 図 1 】本発明に係るスクータ型車両の外装構造の第 1 実施形態を採用したスクータ型車両の左側面図である。

【 図 2 】燃料タンク及びラジエータを取り付けた状態での車体フレームの斜視図である。

【 図 3 】シート及び車体カバーを取り外した状態でのスクータ型車両の前後方向中間部の左側面図である。

50

【図 4】図 1 に示すスクータ型車両の車体カバーを説明するための左側面図である。

【図 5】図 4 に示すスクータ型車両の平面図である。

【図 6】図 4 に示すスクータ型車両の正面図である。

【図 7】図 4 の A 部拡大図である。

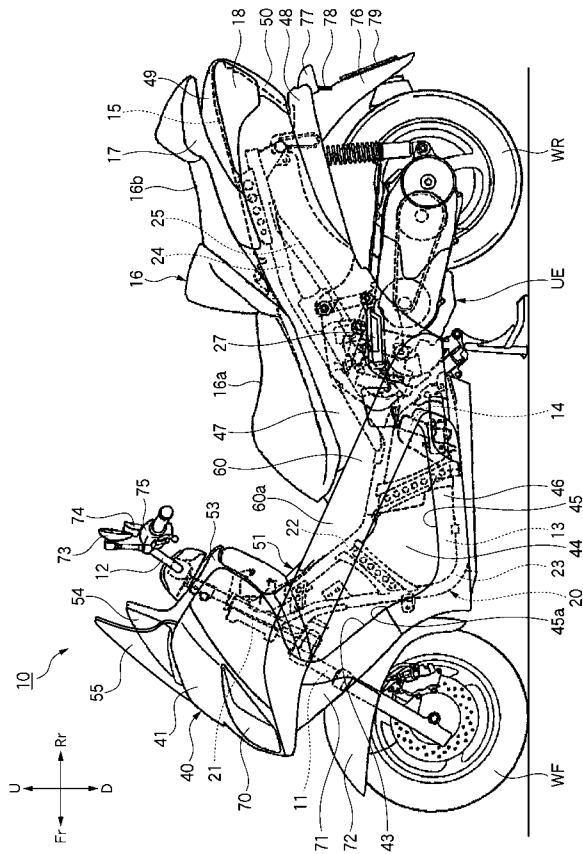
【図 8】本発明に係るスクータ型車両の外装構造の第 2 実施形態を採用したスクータ型車両の右側面図である。

【符号の説明】

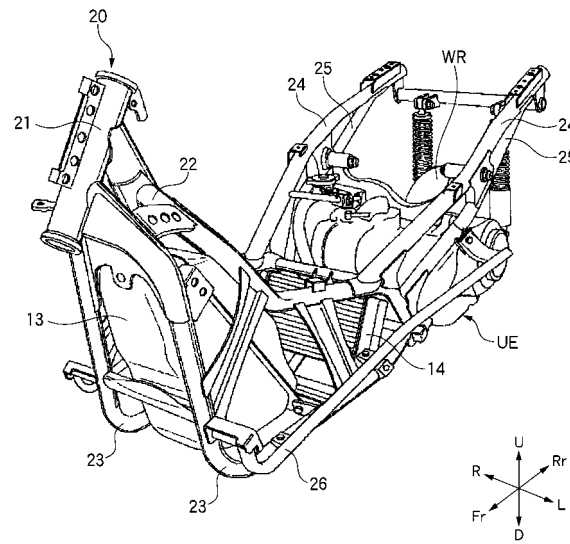
【 0 0 4 0 】

1 0	スクータ型車両	
1 6	乗車用シート	10
1 6 a	運転者着座部	
1 6 b	同乗者着座部	
2 0	車体フレーム	
2 1	ヘッドパイプ	
2 2	上ダウンフレーム	
2 3	下ダウンフレーム	
2 4	シートレール	
2 5	リヤフレーム	
2 6	サポートフレーム	
2 7	パッセンジャーステップ	20
4 0	車体カバー	
4 1	フロントカバー	
4 3	レッグシールド	
4 4	フロアセンターカバー（センターカバー）	
4 5	ステップフロア	
4 5 a	<u>ステップフロアの前端部</u>	
4 6	フロアサイドカバー	
4 6 a	円弧部	
4 7	ボディサイドカバー（サイドカバー）	
4 7 a	凹部	30
4 8	リヤロアカバー	
4 9	リヤアッパーカバー	
5 0	リヤセンターカバー	
6 0	外観部品	
6 0 a	<u>傾斜面</u>	
W F	前輪	
W R	後輪	
U E	ユニットスイングエンジン	

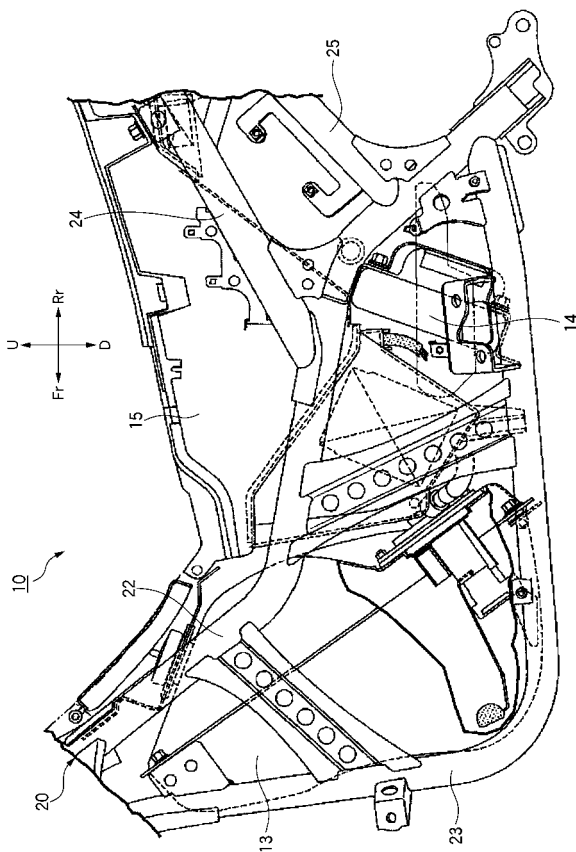
【 図 1 】



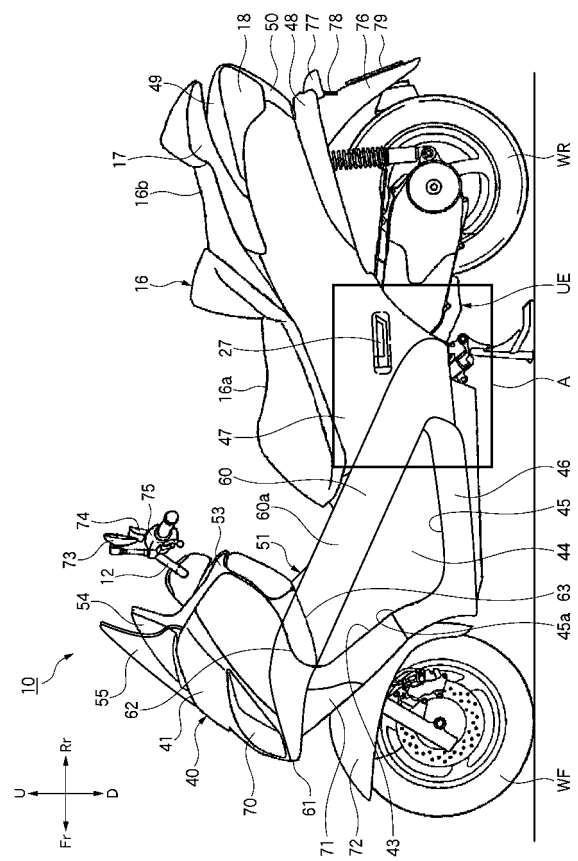
【 図 2 】



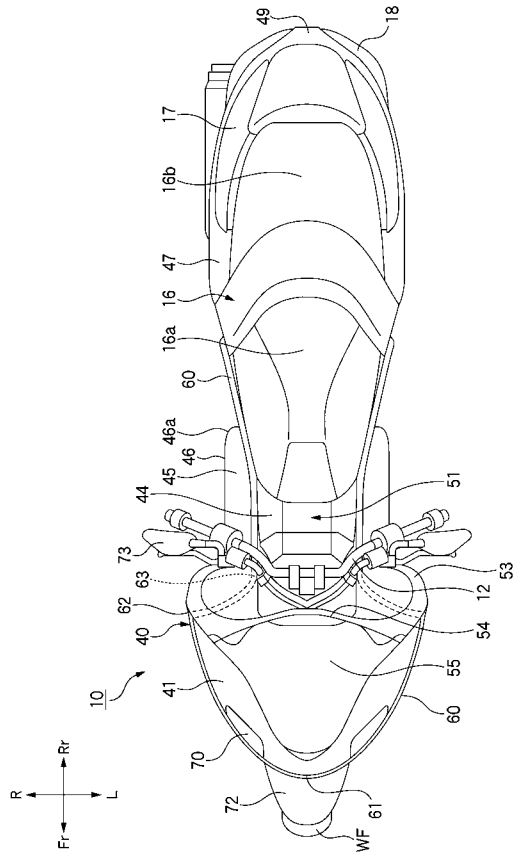
【 図 3 】



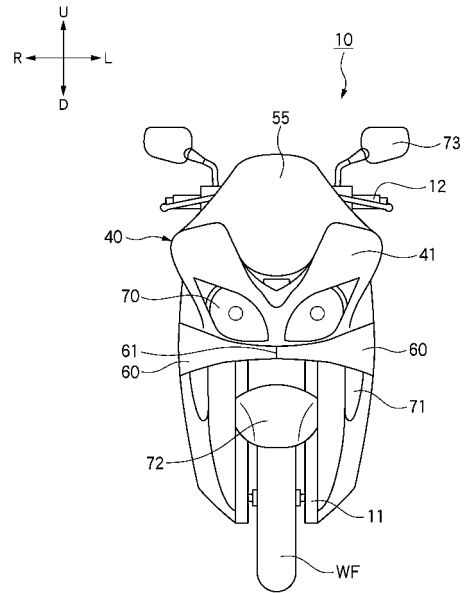
【圖 4】



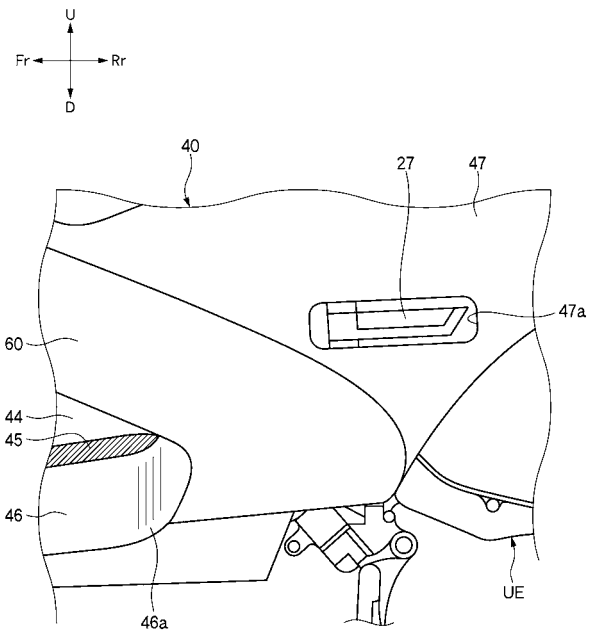
【図 5】



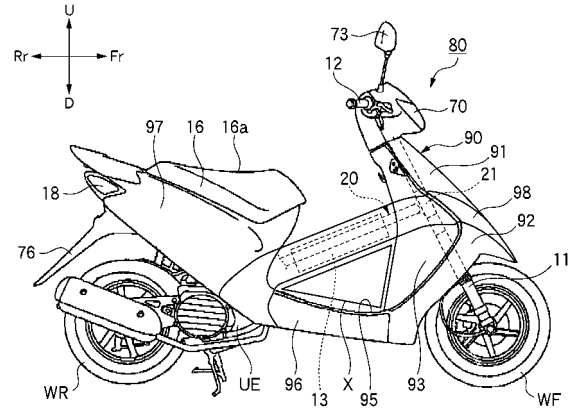
【図 6】



【図 7】



【図 8】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開2007-216921(JP,A)
特開2002-068064(JP,A)
特開2006-062581(JP,A)
特公昭38-013253(JP,B1)
特開平05-024565(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
B62J 23/00